



地域の魅力を発信したい
観光や特産品開発で地域を
元気にしたい

ワタシたちが探求する 地域づくり



ここから始まる! 地域理解実習 学生レポート!



大石 佳奈さん
埼玉県立上尾鷹の台高等学校 出身



実習先
埼玉県
三芳町
コース

方法・取組み内容

落ち葉堆肥農法や平地林、旧島田家住宅など、三芳町の文化や文化財についての調査を行いました。現地の人の話を聞くだけでなく、積極的に質疑応答を行うなど三芳町への理解を深めました。

実習を経た結果

元々火山灰土に厚く覆われて作物が育ちにくい三芳町だからこそ「落ち葉堆肥農法」が受け継がれてきたように、その地にしかない特性があるのだと気づきました。地域活性化において利便性をよくすることも大切ですが、その地にとっての重要な文化や歴史を壊さず守っていくことも課題解決の糸口に繋がると思うようになりました。

今後の目標は?

身近な地域資源を活用した特産品の開発などに挑戦したいという思いと、実習で地域を見て回ったことで新たな魅力を発見できたように、まずはその地に訪れてもらえるような企画を考える観光分野にも興味があります。地域の文化や歴史をどのように発信していくのか、自分なりの地域創生を模索しています。

地域理解実習とは...

1・2年次の実習科目。コース別に分かれて、現地を観察し、関係者に対する聞き取りや情報収集などを通じて、地域の現状や課題について認識を深めていきます。それらの成果を踏まえ、3年次からはより実践的な地域創生実習に取り組みます。



富秋 茅晴さん
千葉県立船橋啓明高等学校 出身



実習先
茨城県
笠間市
コース

方法・取組み内容

笠間市の公共交通の現状を学んだあとに、交通手段であるシェアサイクリングを体験したり、特産である笠間焼を実際に作ってみるなど、学習と見学・体験を繰り返しながら笠間市の課題や地域活性化への取り組みについて学びました。

実習を経た結果

笠間市は地方の公共インフラの現状や外国人観光客の受け入れ態勢、少子高齢化による後継者問題など課題を抱える一方で、廃校の利活用や空き家を活用した飲食店など、過疎問題をプラスに変えられている市だとも感じました。今後は笠間市のような取り組みをより多くの地域でも活用できるよう学びを深めていきたいと思っています。

今後の目標は?

これまでの学びを経て、災害と地域創生とのつながりに関心を持つようになりました。地域の課題解決と同様に、災害からの復興をどのように行っていくのかで、その地域の資源や魅力をより増やしていけるのではないかと考えています。文化の保護や復元、復興のあり方などをさらに深く学んでいきたいと思っています。



今村 結衣さん
白梅学園高等学校 出身



実習先
埼玉県
富士見市
コース

方法・取組み内容

富士見市役所の取り組みや水子貝塚公園、難波田城公園の歴史、かつて広く生産されていた座敷ぼうきについて学ぶほか、ふじみ野駅で行われた「MACHifes street」に参加し、地元住民の方々と交流を深めました。

実習を経た結果

これまでは担当の方からお話を聞いて現状や課題を知り、レポートにまとめるという学びでしたが、実習が進むにつれて地元の方と直接関わることで課題の原因を自ら探っていくという段階に入り、地域創生学部の醍醐味を感じました。今後別の実習地と比較を繰り返すことで、これまでの経験がそれぞれの課題解決の参考になるのではないかと考えています。

今後の目標は?

今後はさらに遠い地域での実習を予定しているので、また違った文化や産業にふれられることが楽しみです。今まで訪れた地域との比較を繰り返すことで、地域の新たな魅力を見つけ、地域活性化につながる活動に貢献したいと思っています。

方法・取組み内容

ポテトチップスを生産する菊水堂など地元企業への訪問や農業体験を通して、八潮市の特徴や課題について直接話を聞き、活性化施策をテーマにワークショップを開催し、アイデアを提案しました。

実習を経た結果

実習先では「学生視点からの意見」を求める声が多くありました。つくばエクスプレスが通ったことで人口増加や駅前の都市化が進んでいるように感じる反面、特産である山東菜の需要減少や製造業が抱える後継者問題など課題も多く、現地では固定観念にとらわれていない人からの考えが重要視されているのだと改めて気づかされました。

今後の目標は?

地方の食材や特産物を活かした観光に興味があります。地域活性化を進めていく中でやはり地元住民以外の人たちがその土地を訪れ、知る機会は重要だと思っているので、過疎化が進んでいる地域や、震災で大きなダメージを負った町の復興など、観光の面から地域創生に携わってきたいと思っています。



北條 雄大さん
正則高等学校 出身



実習先
埼玉県
八潮市
コース

学びのポイント 01

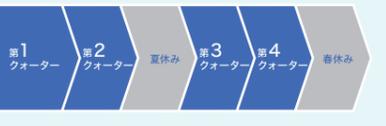
最先端の教育システムを導入し成長を実感できるプログラム

「クォーター制度」

1年を4学期に分けて学ぶクォーター制を導入。短期集中的に学ぶことで学修効果を高めます。また、長期での現地滞在や平日での実習が可能になり、リアルな地域創生を学ぶことができます。

「学修ポートフォリオ」

学修成果を定期的に記録し、アドバイザーと一緒に確認することで、自己の成長を実感するとともに、次の学修課題を設定していきます。

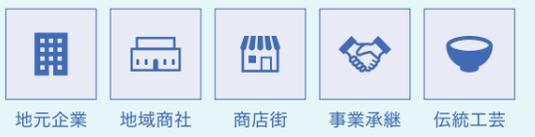


学びのポイント 02

地域創生を知るための2つの履修モデル

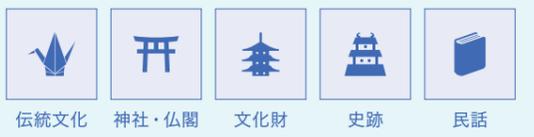
<地域産業・企業モデル>

地域の資源を活用し、新規事業や新商品の企画や開発についての知識や方法を学びます。さらに、地域産業の構造や課題への理解を深め、地域経済の持続的な発展を担う人材をめざします。



<地域社会・文化モデル>

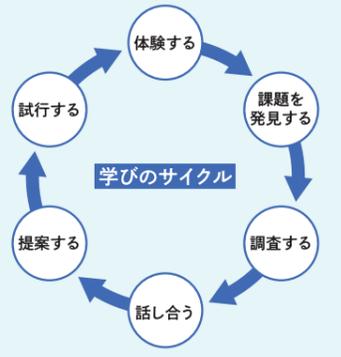
地域資源を活用し、文化活動や文化交流の企画や運営についての知識や方法を学びます。さらに、地域社会の構造や課題への理解を深め、地域振興や活性化の推進を担う人材をめざします。



学びのポイント 03

カリキュラムの約3割が「地域実習関連科目」体験から課題を発見する「学びのサイクル」

地域理解を深めながら地域の課題を見つけ、調査、協議、提案、試行。この「学びのサイクル」を繰り返すことで、「地域の幸せ」を実現する仕掛けをブラッシュアップし、地域課題を解決へと導きます。



地域創生学科の4年間の学び

1年次

基礎的な知識やモノの見方を学ぶ

2年次

課題解決のために必要な知識と手法を学ぶ

3年次

関心に基づき現場で試行する

4年次

4年間の学びを統合し専門性と実践力を完成させる

3年次以降の学び

担当地域を訪問したり、ヒアリングやアンケート調査を実施。事例研究の成果を踏まえて地域創生策の仮説を設定し、事業計画を策定します。実際に地域の方に協力を得ながら商品開発や事業に取り組むなど、学びの成果を統合し、自身の将来につながる地域創生のモデルを確立します。

実習先はほかにもたくさん！ さまざまな地域で学ぶ地域創生実習！

やってみたいことが、きっと見つかります。

静岡県 松崎町

石積みの棚田が美しく、集落活性化の起点となっています。撮影に最適なスポットも多く、映画のロケ地としても親しまれています。



写真提供：松崎町

静岡県 小山町

富士山や箱根の山々に囲まれた町。豊かな水資源で育つ「コシヒカリ」や「水掛け菜」など、食品産業が盛んです。



写真提供：小山町

三重県 明和町

天照大神に仕える「斎王」が暮らした「伊勢物語」ゆかりの地。当時を再現した「斎王まつり」も行われます。



写真提供：明和町

茨城県 笠間市

関東最古の焼き物である「笠間焼」が有名で、春には陶器市を開催。栗の名産地で、「笠間の栗」ブランドも人気です。



写真提供：笠間市

岩手県 遠野市

国内屈指のホップ生産地。ビールツアーなどもあり、ホップを中心とした新しいまちづくりが行われています。



卒業後めざせる進路

公務員

地域創生の事業づくりや文化関連施設の運営などを通じて、地域資源を活用した地域づくりや文化事業を推奨していきます。

国家公務員 地方公務員

民間企業 (特に地域産業を支える企業)

地域資源を活用した新規事業や新商品の開発を行い、地域経済の発展と継承に貢献する人材として活躍します。

小売業 生産・加工業 流通業

地場産業、ものづくり企業

各種団体職員

地域の経済団体や文化団体などの職員として、地域資源を活用して地域振興や地域活性化の推進に関わっていきます。

文化関連企業 文化関連施設

「淑徳大学ならではの」のキャリア教育・支援

1年次から始まる淑徳大学のキャリア教育・支援。経験豊富な専門スタッフによるガイダンスや講座のほか、個別アドバイスも充実。4年間を通して学生の未来をバックアップします。

キャリアカウンセリング



キャリア支援室には、キャリアコンサルタント(国家資格)が常駐しています。自身のキャリアに関する悩みや、就職活動に関する相談がいつでもできます。

学年別キャリアガイダンス



早い時期から就職意識の醸成をスタートさせます。年次を追うごとに内容をステップアップさせ、自信を持って就職活動に臨むための知識やスキルを段階的に身につけます。

公務員試験対策講座

専門スクールによる講義を開講



キャンパス内で、専門スクールの講師による講義を開講します。一次試験の教養試験対策はもちろん、二次試験の面接の傾向と対策もしっかり行います。

